

事業番号	05 06 04	事業改善シート（28年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	地域医療介護総合確保基金事業(保健・疾病対策課分)			担当課	部局	健康福祉部	
					課・局・室	保健・疾病対策課	
総合5か年計画	プロジェクト				E-mail	hoken-shippei@pref.nagano.lg.jp	
	施策の総合的展開	6-1 健康で長生きできる地域づくり					
		4 医療施策の充実			実施期間	H26 ~	
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針						
	施策展開						

1 事業の概要

目指す姿	○どの医療圏においても県民が標準的な医療を等しく受けられる状況の創出 ○患者が早期に社会・在宅復帰し、地域で継続的に生活 ○機能別の病床構成の見直しにより、患者の状態に応じた適切な医療を提供					
現状（予算編成時）	○未だに三大疾病に対する標準的な急性期医療提供体制が脆弱な二次医療圏が存在 ○在宅療養者の割合が高い中、必ずしも在宅医療提供体制が十分確保されていない状況 ○病床が高度急性期に偏り、回復・慢性期機能病床が不足					
県が関与する理由	県でなければ実施不可（法令等義務）		【左記の説明、根拠法令等】			
	県民との協働による実施：実施は困難		厚生労働省「平成26年度医療介護提供体制改革推進交付金及び地域医療対策支援臨時特例交付金交付要綱」			
成果目標・事業内容	① 成果目標（H28）					
	地域における医療及び介護の総合的な確保の促進に関する法律（平成元年法律第64号。以下「法」という。）第4条第1項の規定により県が作成した計画に基づき、病床の機能分化・連携、在宅医療の推進及び医療従事者の確保のために必要な施設、サービス等の計画的な確保を図る。（事業進捗率70%以上）					
	② 事業内容（単位：千円）					
	項目	実施方法	H28事業実績	H28		H29
				（当初）	（決算）	（当初）
	病床機能の分化・連携推進	補助	法第4条第1項に定める県計画に掲載された事業の実施	40,341	37,399	37,117
	在宅医療の充実	直接補助	法第4条第1項に定める県計画に掲載された事業の実施	16,091	11,339	9,433
医療従事者の確保・養成	補助	法第4条第1項に定める県計画に掲載された事業の実施	4,525	3,822	6,651	
		合計	60,957	52,560	53,201	

事業 コスト	区 分(単位:千円)		27年度	28年度	29年度	成果目標の達成状況						
	予算額	前年度繰越	30,833			項目	H26末	H27末	H28			H29 目標
		当初予算	38,156	60,957	53,201				目標	成果	達成状況	
		補正予算				事業進捗率 (全体執行額／ 全体計画額)	43.11%	41.40%	70%	72.1%	達成	70%
		合計(A)	68,989	60,957	53,201							
	Aの 財源	一般財源										
		県 債										
		国庫支出金										
		その他	68,989	60,957	53,201							
	決 算 額(B)		123,604	52,560								
	概 算 人件費	職員数(人)	1.00	1.00	1.00							
		概算人件費 (C)	8,276	7,914	7,914							
	概算事業費(B(A)+C)		131,880	60,474	61,115							

目標に対する成果の状況	国の交付内示の遅れから、予定していた一部事業の追加募集ができなかったものの、概ね目標としていた事業進捗を図ることができた。
-------------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	国や県内の関係団体との連携を密にして、引き続き、脆弱二次医療圏・三次医療圏の医療提供体制強化、病床機能転換の促進、在宅医療提供体制・訪問看護体制強化等に取り組んでいく。